

# Getinge Clean Universal Detergent

Universal洗剤

規制 (EC) No. 1907/2006に適合

## 安全データシート

# GETINGE

GETINGE GROUP

### セクション 1: 製品および会社情報

#### 1.1 組成、成分情報

製品コード

XV1610

商標名

Getinge Clean Universal Detergent

#### 1.2 製品の用法

耐アルカリ性医療機器をウォッシャーディスインフェクターで洗浄する際に使用する弱アルカリ性酵素洗剤。超音波洗浄機および手洗浄で使用すること。

#### 1.3 製造販売業者

安全データシートの製造販売業者の詳細

製造販売業者:

Getinge Disinfection AB, Ljungadalsgatan 11, Box 1505,  
SE-351 15 Växjö, Sweden (スウェーデン)

電話: +46 (0)10 335 98 00

ウェブサイト: [www.getinge.com](http://www.getinge.com)

Eメール: [info@getinge.com](mailto:info@getinge.com)

製造販売業者 ニュージーランド:

Getinge Australia (NZ 支社)

Unit 4, 10 Cryers Road

East Tamaki, Auckland

Botany 2163

ニュージーランド

電話: +64 927 290 393

#### 1.4 緊急連絡先

製品のこぼれ、吸引もしくは飲み込みのような緊急事態が発生した場合、緊急ホットラインにご連絡ください。

EU: +44 (0) 123 523 96 70

オーストラリア: +61 280 144 558

日本: +81 345 789 341

中国: +86 105 100 30 39

中東: +44 (0) 123 523 96 71

ニュージーランド: +64 992 914 83

---

## セクション 2: 危険有害性の要約 (未希釈製品)

---

2.1	混合物の分類	1272/2008 に準拠  健康上の有害性: 分類されていない。 身体上の危険: 分類されていない。 環境危険物: 分類されていない。
2.2	ラベル	1272/2008 に準拠  EUH208 – 酵素 (スブチリシン) が含まれています。アレルギー反応を引き起こす恐れがあります。  P262 – 眼に入れたり、皮膚または衣服に付着させないようにしてください。  P305 + P351 + P338 – 眼に入った場合: 水で数分間じゅうぶんに洗い流すこと。できるかぎりコンタクトレンズを外すこと。水によるすすぎを続けること。  P302+P352 – 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗ってください。  P405 – 施錠して保管してください。
2.3	その他の危険性	確認されているものではありません

---

## セクション 3: 成分、組成の情報

### 3.1

材質	CAS 番号	レベル	危険性 (セクション 16 を参照)
スブチリシン	9014-01-1	0-1 %	急性毒性 4、水性急性 1、 眼に対するダメージ 1、 呼吸器感作性 1、 STOT 単回曝露 3 皮膚刺激性 2  H315 H318 H302 H335 H334 H400
リパーゼ	9001-62-1	<0.1 %	呼吸器感作性 1  H334
アミラーゼ	9000-90-2	<0.1 %	眼に対するダメージ 1、 呼吸器感作性 1、 皮膚刺激性 2  H315 H318 H334

## セクション 4: 応急措置

### 4.1 応急措置の説明

目に付着:	目蓋を開けて、直ちに水で洗眼してください (最低 10 分間)。直ちに医師の診断を受けてください。
皮膚への付着:	汚染した衣服を脱ぎ、水で皮膚を洗浄し、炎症が続く場合、医師の診断を受けてください。
吸入:	炎症が発生した場合、新鮮な空気のところへ移し、暖かくして休ませます。直ちに医師の診断を受けてください。
摂取:	無理に吐かせないでください。意識がある場合、水を飲ませてください。直ちに医師の診断を受けてください。
応急手当て担当用 PPE:	身体への接触を防止するために保護衣を着用してください。 (第 8.2 項を参照)

4.2	最も重要な症状と影響 (急性と遅発性)	
	目に対する危険性:	炎症を引き起こします。
	皮膚に対する 危険性:	長時間あるいは何回も皮膚に触れた場合、炎症/乾燥を起こすことがあります。
	呼吸器に対する 危険性:	通常使用で危険性はありません。噴霧物質を吸入すると炎症/ アレルギー反応を起こすことがあります。
	その他の危険性:	
4.3	必要な応急処置と 特別な治療の目安	第 4.2 項に記載されている以外に特別な治療や処置は必要ありません。

---

## セクション 5: 火災時の措置

---

	可燃の危険性:	可燃性ではありません。
5.1	消火媒体	特別な条件なし。火災の原因に応じて適した消火剤を使用してください。
5.2	物質や混合物に 起因する特殊な 危険	混合物に起因する特殊な危険はありません。
5.3	消防士への アドバイス:	混合物については特になし。

---

## セクション 6: 漏出時の措置

6.1	人体に対する注意事項、保護具と緊急時措置	<p>接触しないよう注意してください。人体用防護装置を使用のこと（セクション 8 を参照）。</p> <p>床にこぼれると滑りやすくなります。</p> <p>周囲に邪魔なものがないようにしてください。</p> <p>規制を順守してください。</p>
6.2	環境的注意事項	<p>漏れた物質が水路に入らないようにしてください。</p>
6.3	封じ込めと掃除の方法および材料	<p>少量の場合は、モップでふき取るか不活性の吸収剤を使用してください。</p> <p>大量の場合、流れを止めて吸収するか、適切な容器へ汲み上げてから廃棄してください。</p>
6.4	他の項の参照項目	<p>セクション 8 とセクション 13 のアドバイスに従ってください。</p>

## セクション 7: 取り扱いおよび保管上の注意

	貯蔵期間:	<p>メーカーオリジナルの密閉容器で 18 ヶ月。</p>
7.1	安全な取り扱いに関する注意事項	<p>他の製品と混ぜないでください。産業衛生の推奨事項に従ってください。</p>
7.2	安全な保管条件 (配合禁忌を含む)	<p>結氷のない涼しくて乾燥した場所へ保管し、酸類、強酸化剤および発火源から隔離してください。メーカーオリジナルの容器に入れ、立てた状態で保存してください。推奨保管温度は 5 ~ 25 °C です。</p>
7.3	製品の用法	<p>分注レベル 2 ~ 10ml/L。洗浄温度範囲 (WD) 50 ~ 60 °C。手/超音波および精密機器の場合 40 ~ 50 °C。</p> <p>ポリカーボネートには使用しないでください。使用前にアルミニウムおよび他の材質との適合性をチェックしてください。</p> <p>水で完全にすすいでください。</p> <p>他の製品と混ぜないでください。</p>

## セクション 8: 曝露防止および人に対する保護措置

### 8.1 管理パラメータ

作業場での曝露限界値

スブチリシン 0.04 µg/m<sup>3</sup> WEL 8 時間 TWA (EH40 UK)

### 8.2 曝露防止

この措置は、一般的な使用方法に関する基本的内容を参考例として提示するものであり、製品の潜在的な使用すべてに適用するものではありません。ユーザーは、特定のプロセスや作業システムに関するリスクアセスメントを完全に実施する責任を持っています。

目の保護具： BS EN 166 に準拠したゴーグルを装着してください。

手の保護具： PVC またはゴム製手袋を着用してください。指定されたリスクアセスメントに基づいて適切な手袋の選択をしてください。

身体の保護具： 身体への接触を防止するために保護衣を着用してください。

呼吸器の保護具： 換気の良い場所で使用し、噴霧物質を吸いこまないでください。必要に応じてEN149に準拠した防塵マスクを着用してください。

その他の保護具：

個別の保護装置：



実施されるプロセスに関する特定のリスクアセスメントに基づいて適切な個人防護具を選択してください。

環境保護: 混合物が水路に入らないようにしてください。

## セクション 9: 物理的および化学的性質

### 9.1 物理的および化学的性質に関する情報

外観:	薄黄色の透明液体	
におい:	独特なにおい	
pH:	出荷時 11.0 (代表値) 5 ml で希釈した場合 9.3 (代表値)	
初期沸点:	>100 °C	引火点: データなし
発火点:	データなし	粘性: 4.6 cSt
爆発特性:	なし	
酸化特性:	なし	
蒸気圧:	データなし	
溶解性:	水と混合可能	
20° C における相対密度:	1.097 (代表値)	

### 9.2 その他の注意

---

## セクション 10: 安定性と反応性

---

10.1	反応性	強酸化剤と酸類には不適合。
10.2	化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
10.3	有害反応の可能性	有害反応の可能性なし。
10.4	避けるべき条件	極端な温度。
10.5	不適合素材	強酸化剤と酸類には不適合。
10.6	危険有害な分解生成物	なし。

---

## セクション 11: 有害性情報

---

11.1	毒性効果に関する情報	
	急性毒性:	有効なデータに基づいて、分類基準は該当せず。
	皮膚腐食性 / 刺激性:	有効なデータに基づいて、分類基準は該当せず。
	目に対する重大なダメージ / 炎症:	有効なデータに基づいて、分類基準は該当せず。

呼吸器官または皮膚の感作:	低レベルの感作物質を含んでいます (セクション 3 を参照)。混合物は感作物質として分類されていません。
生殖細胞変異原性:	変異原性に分類される成分は含まれていません。
発がん性:	発がん性に分類される成分は含まれていません。
生殖毒性:	生殖に対する毒性に分類される成分は含まれていません。
STOT 単回曝露:	有効なデータに基づいて、分類基準は該当せず、
STOT 繰り返し曝露:	STOT 繰り返し曝露に分類される成分は含まれていません。
吸引性毒性:	吸引性毒性に分類される成分は含まれていません。
曝露/症状の経路	
目に付着:	炎症を引き起こします。
皮膚への付着:	長時間あるいは何回も皮膚に触れた場合、炎症/乾燥を起こすことがあります。
吸入:	通常使用で危険性はありません。噴霧物質を吸入すると炎症/アレルギー反応を起こすことがあります。
摂取:	算出されている急性毒性 (経口) >20000 mg/kg。胃腸周辺に炎症を引き起こします。



---

## セクション 12: 環境的情報

---

12.1	毒性	環境に対する危険物には分類されていません。
12.2	残留性と分解性	すべての有機成分は十分に希釈されている場合、生分解可能です。使用されている界面活性剤は生物分解性基準を満足します。セクション 15 を参照してください。
12.3	生体内蓄積能	生体内への蓄積はないと考えられます。
12.4	土壌での可搬性	本製品は高い水溶性を持っています。
12.5	PBT および vPvB アセスメント	PBT または vPvB に分類される成分は含まれていません。
12.6	他の有害な作用	他の有害な作用はないと考えられます。

---

## セクション 13: 廃棄上の注意

---

13.1	廃棄方法	<p>工程廃水は通常、詰まった下水に廃棄可能です (承諾限界値に準じる)。</p> <p>汚れが除去された空の容器は、専用施設でリサイクルするか、認可を受けているゴミ処理または焼却施設へ送ることができます。</p> <p>余った製品とパッケージの廃棄は、認可を受けている化学薬品処理業者に依頼してください。</p>
------	------	---

---

---

## セクション 14: 輸送上の注意

---

14.1	国連番号:	分類されていません。 Tariff/TARIC 3402 90 90
14.2	UN 正規出荷名:	データなし
14.3	危険物輸送クラス:	データなし
14.4	パッキンググループ:	データなし
14.5	環境危険物:	本製品は環境危険物として分類されていません。
14.6	使用者への特別な 注意事項なし。	特別な注意事項はありません。
14.7	MARPOL 7 3/78 の Annex II および IBC コードに従ってバルク 輸送	バルク輸送用はありません。

---

---

## セクション 15: 適用法令

---

### 15.1 当該物質または混合物に固有の安全、健康、環境についての規制/法規

洗浄剤に関する (EC) 規制 No.648/2004 に従った内容:

両性界面活性剤:	<5 %	酵素
陰イオン界面活性剤:	<5 %	保存料
非イオン性界面活性剤	<5 %	

本製剤に含まれている界面活性剤は、洗浄剤に関する規制 (EC) No. 648/2004 に記載されている生物分解性基準に準拠しています。

この主張を裏付けるデータは、メンバーの国々の監督官庁が所有しており、直接の申請に基づいて自由に入手できるものとする。

### 15.2 化学物質の安全性アセスメント

化学物質の安全アセスメントは行われていません。

---

## セクション 16: その他の注意

---

### 成分に関するハザードステートメント (セクション 3 を参照):

- H315 - 皮膚に対する刺激を引き起こします。
  - H335 - 呼吸器官の炎症を引き起こすことがあります。
  - H318 - 眼に対する重大なダメージを引き起こします。
  - H302 - 飲み下すと有害性があります。
  - H334 - 吸引した場合、アレルギー症状あるいは喘息症状あるいは呼吸困難を引き起こすことがあります
  - H400 - 水生生物に強い毒性があります。
-

発行日：  
2014年7月31日

発行番号：  
1

出版日：  
2014年9月11日

業界の正しい慣行および各種法令に従って、本製品の保管、取り扱いおよび使用を実施する必要があります。本データシートは、現時点で入手できるデータや資料を基に作成しており、安全要件の見地から製品説明を実施することを目的としています。従って、ここに記載されている具体的特性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。なお、本データシートは、ユーザーの用途・用法に対して製品が適切であることを確認するために使用されます。

## GETINGE

### GETINGE GROUP

ゲティンゲ・ジャパン株式会社  
東京本社 / ヘルスケア事業部  
〒135-0053  
東京都江東区  
辰巳3-9-2  
Phone: 03-6759-2290  
Fax: 03-6759-2299

大阪事業所  
〒567-0985  
大阪府茨木市  
横江1-1-4  
Phone: 072-634-1255  
Fax: 072-634-1256

福岡営業所  
〒912-0083  
福岡県福岡市  
東区原田1-43-43  
Phone: 092-289-5174  
Fax: 092-289-5175

名古屋営業所  
〒444-0909  
愛知県岡崎市  
樋目町字勘助屋敷79-2  
Phone: 0564-64-3121  
Fax: 0564-64-3122

仙台営業所  
〒980-0904  
宮城県仙台市  
青葉区大町2-10-14  
Phone: 022-217-3460  
Fax: 022-217-3470

広島出張所  
〒729-0324  
広島県三原市  
糸崎3-3-33  
Phone: 0848-60-3110  
Fax: 0848-60-3112

## GETINGE GROUP

Getinge Group は、ヘルスケアおよびライフサイエンスの分野において、品質向上と費用対効果性に貢献する製品及びシステムを提供する世界的なリーディングプロバイダーです。ArjoHuntleigh、Getinge、および Maquet の3つのブランドを基に事業を行っています。ArjoHuntleigh は、患者移動および創傷管理のソリューションに注力しています。Getinge は、ヘルスケアおよびライフサイエンスにおける感染管理のためのソリューションを提供しています。Maquet は、外科的処置、インターベンショナル心臓内科治療、および集中治療のためのソリューション、療法、及び製品を専門としています。